

石山・東石山 第3回ワークショップの概要

1. 再配置案比較の際の評価項目

(1) 評価項目全般

- 民間企業とは異なり、行政はコスト面や利用人数だけで施設の存続を判断せず、施設やエリアを救うことを考えなくてはならないと思う。
- 現状のサービスは維持できることを前提にしたいので、「現状のサービスを維持できるか」を評価項目もしくは前提条件として最初に文章に入れてもらいたい。

(2) 維持管理コスト

- コストの削減には支出を抑えるというだけでなく、利用料などで収益を生み出し、その結果プラスマイナスで支出を減らす視点も重要ではないか。
- 評価軸が「維持管理コスト」になっているが、維持管理だけでなく、施設を新設する場合の建設費、解体費、改築する場合の改築費等も評価する必要がある。それらの費用も入ることが明確に伝わる表記をしてほしい。
- 「コスト（30年間）を削減できるか」を評価するとあるが、30年間で考える根拠が伝わる書き方にしてほしい。
- 現状の施設を維持した上で、空き部屋の活用等の利用方法を工夫して財政負担を減らせるかという視点からも案を評価してほしい。

(3) アクセシビリティ

- 施設の再編によってこれまでより施設が遠くなってしまう人もいるので、アクセスの視点は大事だ。
- 駐車場の設置に限界があるのだとしたら、コミュニティバスなどの多様な交通手段があるかは重要な評価項目になると思う。
- アクセシビリティを将来的な計画も踏まえて評価するのか、現状で評価するのかを知りたい。例えば、石山南まちづくりセンター近くにバス停設置の計画があるが、そういった計画も前提として評価するのか。計画によっては実現性が高いものと低いものがあるの

で、それも加味しなくてはならず、評価するのが難しいのではないかと。

- 施設をどの場所に建てるかに着目するのではなく、「行きやすさ」を評価するのは良いと思う。高齢になればいずれは自力で行くことができなくなるので、距離ではなく移動の手段が重要になる。サテライト化やデジタル化とのバランスも考える必要があると思う。

(4) 運動ができる場所

- 「運動ができる室内スペース」というのは、誰が使う、どれくらいの広さのスペースと考えて評価するのか。
- 運動ができるスペースは、運動だけだと機能として必要だという説得力に欠けるが、有事には避難所としても活用できる場所と考えれば、理解を得られやすいと思う。

(5) 多世代が集う場所

- 現状の公共施設の使われ方を見ると、これから新しく施設をつくる際には「多世代が交流できる」「学習室の充実」という視点が大切だと思う。
- 若者が集まってくるようなテーマ性のあるスペースを作れるかという視点が必要ではないか。例えば、東区市役所には複合型の子ども食堂ができ、e スポーツを体験できるスペースもあるそうだ。
- 施設に来てからのバリアフリーだけでなく、施設までのバリアフリーなアクセスを確保できることも重要だ。そこまで考えて、本当の意味でのバリアフリーだと思う。

(6) 中央に行政サービス拠点

- 「中央」というが、石山、東石山地域は四角ではなく L 字型なので、どこが中心なのかが判断しづらいと思う。
- 地図上で地域の中央に位置するのはシルバーピア石山なので、この評価項目では V 案しか評価されないのではないかと。シルバーピア石山に機能を集約するのが前提のような書き方がされていて違和感を持った。

(7) 貸室機能の維持

- 再編後も今と同じ様に活動ができた方が良いので、この視点は大事だと思う。
- 施設再編によって新規の利用者が増える可能性がある。現状ではその数を想定できないので、部屋数が確保できるかの判断は難しいのではないかと。

(8) 追加したい評価項目

- 駐車場が狭いと利用しづらいので、駐車スペースが十分に確保できるかという評価項目が必要だと思う。
- 記載されている評価項目の表現が分かりづらい。駐車スペースが確保はできるか、区バスの利用はできるかといったより具体的な内容を入れてほしい。
- 多世代の中で、若者（学生）については明記されているが、乳幼児、小学生の居場所や高齢者のことに触れられていないのが気になる。
- 1つの部屋を1日中フルに使えば部屋の稼働率を高めることができるので、そういう部屋の有効活用の視点があっても良いと思う。
- 石山・東石山地域は地盤が低く水害が心配なので、水害や地震に強い安全な立地や各地域から車が使えなくてもアクセスの良い施設配置になっているか等、防災の視点からも評価してほしい。
- シルバーピア石山の老人憩いのフロアは災害時に活用できる貴重な機能を持っているので、「避難所として対応できる機能はあるか」「災害に強い施設か」も評価項目に入れてほしい。
- 再配置を考える上で機能の維持も大事だが、スペースが縮小されてしまうと十分に機能を果たせなくなる。各機能に必要な広さが確保できているかも評価してほしい。
- 民間活用を考えていく必要があると思うので、その可能性があるかも評価してほしい。
- 今回の再編対象施設以外の石山・東石山地域の公共施設の事業計画を踏まえた配置計画となっているかを評価軸や評価項目に入れた方がわかりやすい。例えば、学校の空き教室や駐車場の活用などの学校活用の可能性も視点に入れてはどうか。
- 将来を担うのは若者なのだから、若者が訪れやすい、使用しやすい施設かなど、若者のためになる評価項目があると良い。

2. 再配置案に期待すること・留意すること

(1) 案全般

- 将来を考えると、古い施設を使い続けるよりも、新しい施設を建てた方が良い。
- 現状維持案以外は、越後石山駅の近くに新施設ができるので、人が集まりやすく活気づくと思う。コンビニやカフェなども併設して、買い物やゆっくり過ごすことができる場にしてほしい。
- これまでは石山地区センターで様々な用事をワンストップで済ませられたが、保健福祉センターが移転されるとできなくなってしまう。
- 江南地域の住民にとっては、石山地区センターが地域にあるのは当たり前のことになっており、この施設があるから江南を選択して住むことにした人もいることを考慮してもらいたい。
- 出張所は現状でも混んでいるので、機能が移転したことで狭くならない様にしてほしい。
- 出張所など中央区の住民も使っている機能は、移転後も利用できるような配慮が必要だ。石山、東石山の住民も他区の施設を使って良いのだから、周辺の区の施設も含めて施設配置を考えてはどうか。
- 保健福祉センターが移転しても、センターで行っている健診や相談などの機能は地域内に残してほしい。
- 機能を集約する施設は、水害や地震に強い立地に建ててほしい。
- 石山地区公民館は耐震工事を行なっているのだから、廃止するより使い続ける方が良い。改修費が無駄になる。
- 公共施設を再配置する時の条件として、利用者数に対応できる広さの駐車場を設置することを入れてほしい。
- 体を動かす空間はどの案になっても確保してほしい。
- 何年先までを見据えた再配置案になっているか知りたい。10年後になって新たな問題が発生し、また検討することになっては困る。
- 最初は戸惑うかもしれないが、移転してしまえば徐々にその状況に慣れていくと思う。
- コスト削減を重視すると市有地を活用した案に絞られてしまう。これまでのワークショップで、新しく土地を購入してはどうかというアイデアも出たのに反映されてい

ない。

(2) 案Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ共通

- 越後石山駅に近いので利便性が高まり、通勤、通学の際に利用しやすい。新潟駅からも近く、交番ができたなら安全性も高まるので、多機能施設を新設するのに良い立地だと思う。
- 図書館機能が集約されると使い勝手が良くなる。蔵書数を増やすなどして充実させ、多くの利用者に使われる、活気ある図書館になると良い。
- 現状では駅周辺にコンビニがないが、新施設に併設できればお弁当が買えたりして、学生や親にとって利便性が高くなる。
- 石山南まちづくりセンターの跡地に駐車場が確保できると思うので、駐車場の課題にも対応できると思う。
- いずれの案でも石山地区センターが廃止されるが、近隣区民も利用している施設なので、この地域だけで廃止を決めても良いのだろうか。移転するだけの合理的な理由がないと理解が得られないのではないか。
- 駐車スペースが十分にとれるのか。駅前の施設だと、施設利用以外の目的で無断駐車する人が出てくることも心配だ。
- 園芸センター記念公園の一部を活用とあるが、貴重な屋外の緑のスペースであり日常的に利用している子どももいるので、交流の場として使えるくらいは残してほしい。
- 越後石山駅の東側の人々が新施設を利用しやすいように、新施設まで区バスが通るようにしてほしい。

(3) 案Ⅱ・Ⅲ共通

- 駅に近いので、通学、通勤で駅を利用する若い世代が使用して活気づくと思う。他の世代の利用者も増えてくるのではないか。
- 石山南まちづくりセンターと石山地区公民館を集約して図書館なども入ると、スペースは十分にあるのか。コミュニティ施設の部屋数が足りず、利用者があふれて予約が取れないのではと心配だ。

(4) 案Ⅰ

- 財政負担の軽減は、利用方法の見直しなどで可能だと思うので、現状が維持できるこの案が良い。
- 財政面や建物の安全性を考えると現状維持は現実的に厳しいと感じる。
- 案の特徴を読むとデメリットが多く書かれているので、再編ありきと感じさせる。もっと前向きな言い方ができないのか。

(5) 案Ⅱ

- 出張所機能を石山南まちづくりセンターに移す場合、今の石山南まちづくりセンターのスペースで足りるのか心配だ。
- 出張所とコミュニティ系の施設が分散するため、年配者で不便を感じる人もいると思う。

(6) 案Ⅲ

- 新施設に石山地区センターと石山南まちづくりセンターの機能が集約されて便利になり、維持費の削減につながる。石山地区センター跡を売却することができれば、財政負担の軽減に最も効果がある案だと思う。
- 新施設に出張所とコミュニティ系の施設が一緒になり、行き来しやすく便利だと思う。
- 石山南まちづくりセンター跡地を駐車場にできれば、駐車スペースが確保できて良い。
- 駐車場のスペースが十分にとれるか、コミュニティバスなどを走らせた時にバスが入ることができるか等のアクセスの心配がある。
- 新施設に機能が集約されることで、災害時に人が集まりすぎてパンクしてしまうのではないかと心配だ。
- 現状では駐車場が少ないので、きちんと駐車場を確保して欲しい。
- 新施設に多くの機能が集約されるが、駅周辺は道が狭いので混雑したり事故が多くなるのではないかと心配だ。周辺の道路整備も合わせて検討できると良い。

(7) 案Ⅳ

- 駅の利用と合わせて、新施設の利用者が増える可能性はある。

- 新施設を2つ建設すると建設費も維持費も負担が大きく、コスト削減には繋がらないのではないか。
- 石山南まちづくりセンターの機能が、石山地区センターの跡地に移転するとあるが、南中野山小学校区のコミュニティ協議会の事務所や活動場所も移転することになるとしたら、これまで石山南まちづくりセンターを利用して活動してきた人達は不便になる。
- 駅前にできる新施設の駐車場はどこに設けるのか。駐車場がないと利用者にとって不便なので、施設を新設する場合の付帯条件としてほしい。

(8) 案V

- シルバーピア石山は地域の中心に位置していると思う。将来的に見ても立地が良いので活用しやすいのではないか。
- シルバーピア石山に行政サービス機能を集約すると、これまで石山地区センターを利用していた人にとって遠くなり、かなり不便になると思う。
- シルバーピア石山は施設が古く、リニューアルして使う価値があるのか疑問だ。リニューアルしてもすぐに耐久年数の問題が出てきて、建て替えのことを考えなくては避けたい。
- 行政サービスや図書館を集約するには、シルバーピア石山は床面積が足りない。既存の貸館機能などの各機能が縮小されて使いづらくなってしまわないか。
- 施設周辺の道路が狭く、通りづらい。バスが通るルートからも離れているため、バス利用者にとっても不便だ。
- シルバーピア石山は駐車場が少ないため、機能を集約して利用が増えると駐車場が足りなくなると思う。行政サービス機能が低下するのではないか。

(9) 新たな提案

- コストを下げるのなら現状の施設を残し、改修して長寿命化するという考え方もあるはずなのに、そういう考え方の再配置案がない。
- コストを考えて公有地を対象とした配置案になっているのだろうが、これまでのワークショップで出されていた新しく土地を購入して施設を建てる案も比較検討はしてほ

しい。

- 石山地区センターの場所に新しい多機能拠点をつくる案は考えられないのか。
- シルバーピア石山だけでは機能集約するのに狭いので、市営住宅の空いている棟の敷地を活用してはどうか。

3. その他

- 新潟市で「公共施設のこれからを考えるワークショップ」を先行して実施した地域での再編計画は、予定通り進んでいるのか。先行例の現状を知ること、ワークショップを含めたこのようなやり方に意義があったのかを検証したい。
- 石山地区センターの各機能（出張所、保健福祉センター、図書館、公民館）の運営を工夫してほしい。サービス向上のために、市の職員ではなく指定管理などの民間サービスを使用することも検討してほしい。
- シルバーピア石山のお風呂の機能について、どの案も「補修困難になった際、廃止」となっているが「補修困難」の定義や意味を教えてください。